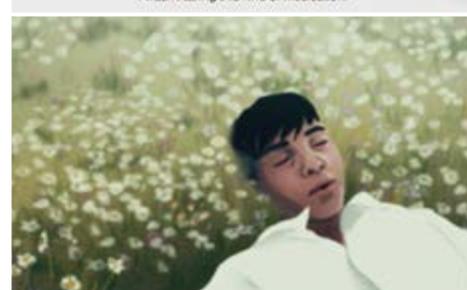


女性監督ドキュメンタリー・アニメーション



ヴィジュアルに、
発信する女性たち

WAT
2019



世界のアニメーションシアター

韓国、スウェーデン、日本のショート13本

2019年6月29日(土)~7月26日(金) 火曜定休

協力:トリウッド、出町座、Animation Runs!(アニメーション・ランズ!)、シアターカフェ、MotionGallery、CHILD POKKE
社団法人韓国インディペンデント・アニメーション協会(KIAFA)、花開くコリア・アニメーション、シネマコリア
愛知淑徳大学 全学韓国・朝鮮語教育運営委員会/交流文化学部
後援:スウェーデン大使館、駐日韓国大使館 韓国文化院
企画・主催:オフィスH(オフィスアッシュ)

下北沢トリウッド
Tollywood

東京・下北沢トリウッド
開館20周年記念イベント

京都、姫路、名古屋などへ
巡回

* 韓国

韓国インディーズ・アニメーションは、90年代の民主化運動に参加した美術運動家たちが、動くアニメーションで、より効果的に自分のメッセージを伝えられると考え、始めました。社会の変化につれ、作品の主題は多様になりました。(中略)女性もそれぞれの目で世界を眺めています。女性作家たちがアニメーションを使って、より良い世界を夢見て、一緒に歩いて生きていく世界のためのメッセージを投げかけます。もう少し、より良い世界に向けて、女性と一緒に歩いてみませんか？

KIAFA 事務局長 チェ・ユジン(推薦文より抜粋)

ユー・アー・マイ・サンシャイン [Aプロ]

監督: ファンポ・セビョル

2016年 / 9分 / ロトスコープ、2DCG

©HWANGBO Saebyul <You Are My Sunshine>



自らのペットロス体験から、愛犬が突然失った喪失感と、愛犬の無償の愛に応えなかった罪悪感に苛まれる仲間たちへの慰めになればと願った物語。

父の部屋 [Aプロ]

監督: チャン・ナリ

2016年 / 9分 / ドローイング

©JANG Nari <MY FATHER'S ROOM>



幼い「彼女」は父から虐待を受けた。父と離れ、こころの傷や父への憎しみは癒えるが、家族に捨てられた父の姿が甦り、彼女は憎しみと哀れみに揺れ動く…。実体験を客観的に捉えた秀作。

ドアスコープ [Aプロ]

監督: ハ・スファ

2016年 / 4分 / ベイント・オン・グラスのアニメーション

©HA Soohwa <A Holein the Door>



ドアスコープを見ると、取っかさが甦る。記憶の中の祖母の姿が、わたしの胸に深く突き刺さるからだ…。アニメーションを習得した「わたし」が、祖母の虚ろさを表現しようと試みる。

希望のバス、ラブストーリー [Bプロ]

監督: パク・ソンミ

2012年 / 9分 / ©Park Sung-mi <Hopebus a love story>



企業権力に立ち向かった女性労働者の籠城闘争と多くの仲間との連帯の実話を、巨大なクレヨンロボットというファンタジーを交え、レゴブロックのコマ撮りという新感覚で伝える。

ミセス・ロマンス [Bプロ]

監督: ハン・ビョンア

2017年 / 8分 / ドローイング、2DCG

© HAN Byung-a, <Mrs. Romance>



ソウルに春雨が降る朝、主婦のクッキは思った。「夢を見ることは、夢を叶えるよりも大切なかもしれない」と…。韓国アニメーション界屈指の女性監督が社会の一面を韓流風に描く。

花咲く手紙 [Cプロ]

監督: カン・ヒジン

2016年 / 11分 / 2Dドローイング

© KANG Hui-jin <A Letter That Bloom Flowers>



20代の女性脱北者が語る韓国定着にまつわる出来事や故郷への思いを描きつつ、ドキュメンタリー・アニメーションを本格的に目指す監督が韓国社会の在り方も問う。

越えられない川 [Cプロ]

監督: キム・ヒソン

2016年 / 9分 / ドローイング

© KIM Heeseon <The River>



脱北者を家族に持つ監督が軍事境界線近くの住民に取材し、分断された川を挟み相克を強いられながら生きる人々の現実にも挑む。分断は過酷だが、絶望ではない…。

フェルーズの夢とともに [Cプロ]

監督: キム・イェヨン、キム・ヨングン

2017年 / 24分 / ドローイング、実写 / ©Studio YOG <FERUZA>



エチオピアでアニメ監督が出会った少女フェルーズは韓流ドラマに憧れ、韓国へ行く夢を持つが、学校卒業後に結婚せねばならない。監督夫婦は少女の運命を変える手助けをすることに…。

* スウェーデン

まだ生きている [Aプロ]

監督: オーサ・サンゼーン

2014年 / 10分 / 2Dドローイング / © Sisyfos Film Production



医師から、胎児の心臓の大きさが通常の半分と告げられた母親。間もなく親になるはずだった夫婦は苦渋の選択をする。喪失感、怒り、耐え難い悲しみに襲われる…。

彼岸 [Bプロ]

監督: オーサ・サンゼーン

2018年 / 14分 / 2Dドローイング / © Sisyfos Film Production



心臓手術を受ける女性患者。麻酔され、現世から離される。彼岸で、生き残った者、親類、哲学者、心理学者、手術医と出会う…。綿密なインタビューと、実体験に基づくアニメーション。古国府薫がアニメーション制作に参加。

生き残る、チャプター1 [Cプロ]

監督: ハンナ・ヘイルボーン、ダーヴィッド・アロノヴィッチ

2018年 / 8分 / ストップモーション / © Story AB

アニメ制作: 古国府薫



「僕はただ真つ暗な棺の中にいるだけ。殺されてはいないけどね」と語るクレイグは、英国の移民拘留センターに果てなく拘留されている。ドキュメンタリー・アニメーションの世界的先駆者が移民留置制度を問うプロジェクト。

* 日本

Birth - つむぐいのち [Aプロ]

企画・総合監督: 若見ありさ

監督: 第1夜「はじめまして」荒井知恵

第2夜「ありがとう」こぐまあつこ

第3夜「水の中の妊婦」若見ありさ

2015年 / 19分 / ©CHILD POKKE



出産の数だけドラマがある。困難を乗り越えながら出産する妊婦の視点で、生命の神秘と誕生の喜びを複数のアニメーション技法で描くオムニバス「Birth」シリーズ第1弾。

Birth - おどるいのち [Bプロ]

企画・総合監督: 若見ありさ

監督: 第1話「トルコで出産」大橋弘典

第2話「h-h-f」池田爆発郎

第3話「とちやんがママのおなかにきてたくちやんが生まれたときのこと」若見ありさ

2017年 / 28分 / ©CHILD POKKE



出産のドキュメンタリー・アニメーション第2弾。夫の祖国トルコで出産する母親、妻の初産に戸惑いつつも寄り添う夫、母の出産を心待ちにしている娘…三者三様の視点を異なる技法で描くオムニバス。



1プログラム 一律 900円

☆3回券 一般2,100円 学生1,800円

※別日でのご利用も可能です。

TEL 03-3414-0433 火曜定休

正真正銘の日本最終上映! 文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞 『はちみつ色のユン』7月13日~7月26日

【WAT割】WAT2019いずれかのプログラムを同日鑑賞で200円引き!

特別イベント 若見ありさ監督セレクト作品上映、トーク、親子でタオル遊び

ママパパシアター@トリウッド 7月12日 10時

宣伝協力:トリウッド 予告ビデオ編集/字幕制作:山本達也(トリウッド) HP制作/チラシ制作:デザイン・スナイプ(鴨原孝江)

各回入替制/整理番号順入場/自由席 ※A=Aプロ、B=Bプロ、C=Cプロ、ユン=はちみつ色のユン

土	日	月	水	木	金
6/29 13:00 A 14:10 A 15:30 B	6/30 13:00 B 14:10 C 15:30 A	7/1 19:00 C 20:10 A	7/3 19:00 B 20:10 C	7/4 19:00 A 20:10 B	7/5 19:00 C 20:10 A
7/6 13:00 C 14:10 A 15:30 B	7/7 13:00 A 14:10 B 15:30 C	7/8 19:00 B 20:10 C	7/10 19:00 A 20:10 B	7/11 19:00 C 20:10 A	7/12 10:00 特別 19:00 C 20:10 B
7/13 13:00 B 14:10 C 15:30 A	7/14 13:00 C 14:10 A 15:30 B	7/15 13:00 A 14:10 B 15:30 C	7/17 17:30 ユン 19:00 C 20:10 A	7/18 17:30 ユン 19:00 B 20:10 A	7/19 17:30 ユン 19:00 A 20:10 B
7/20 12:30 ユン 14:00 C	7/21 12:30 ユン 14:00 A	7/22 13:00 ユン 14:30 B	7/24 13:00 ユン 14:30 C	7/25 13:00 ユン 14:30 A	7/26 13:00 ユン 14:30 B

※イベントの関係でタイムテーブルが変更になる場合がございます。劇場のHPをご確認ください。